

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年11月5日

【2018年10月27日～2018年11月2日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。これまでブラジル大統領選挙の決選投票でボルソナロ氏が勝利するとの期待が、ブラジル・レアル上昇の追い風となってきましたが、28日（現地）に同氏が事前の予想通り勝利したことから、一旦「噂で買って、事実で売る」の動きが進んだと考えられます。

金融市場はこれまでボルソナロ氏の勝利を織り込んで上昇してきましたが、勝利が実現した今では、年金改革や国営企業民営化をはじめとした改革の動向に注目が集まっています。

経済指標に関してはブラジル中央銀行から政策金利の発表があり、事前の予想通り6.5%で据え置きとなりました。ブラジルでは通貨安を受けたインフレ上昇が政策金利引き上げ懸念を招いていましたが、足元のブラジル・レアル反発によってインフレ上昇をめぐる懸念は一旦後退しています。また、10月のPMI（購買担当者指数）製造業が発表され、こちらは前月から上昇しました。

### 【2】今週の見通し

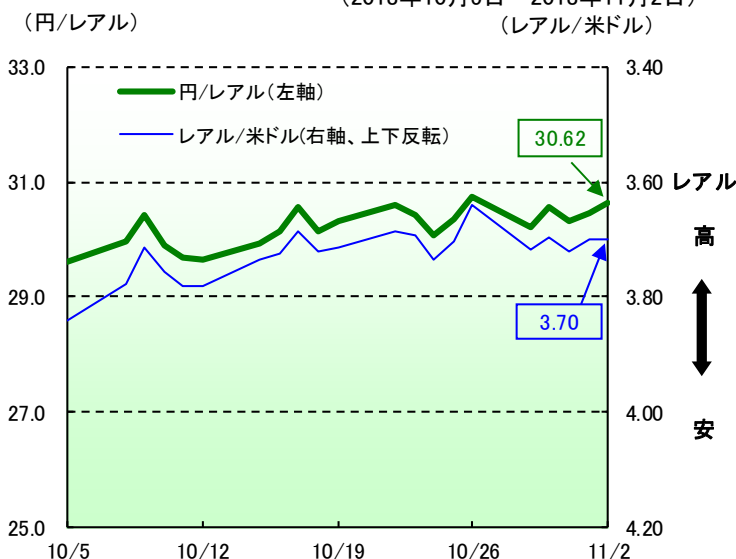
今週は、PMIサービス業や各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

ブラジルの年金改革については、先週ボルソナロ次期大統領がTVインタビューで、新政権発足の来年1月ではなく、現テメル大統領の任期中に年金・恩給に関する社会保障改革を一部でも進める意向を示し、現テメル政権からも協力の意向が示されたことから、年金改革の動向がさらに市場の注目を集めると考えられます。

また、ブラジル大統領選の不透明感から資金調達のための社債発行などがこれまで控えられておりましたが、大統領選が終了し不透明感が払しょくされたことで、これらの金融取引拡大が市場関係者間で期待されています。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

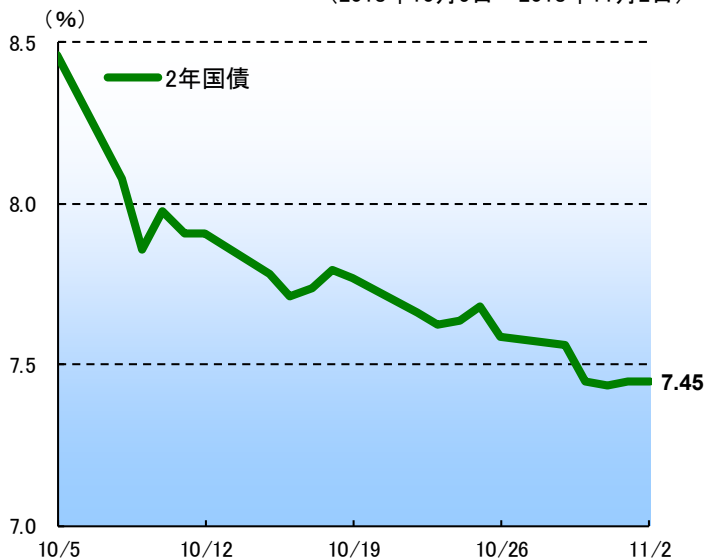
(2018年10月5日～2018年11月2日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年10月5日～2018年11月2日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>